

中山間地域農業のモデルとなる スマート農業の実現について

【担当省庁：農林水産省】

京都府内の7割を占める中山間地域や小規模農業に実装できるスマート農業の技術を実証し、現場に普及させるため、スマート農業加速化実証プロジェクトの実施に当たっては、予算を十分に確保いただくとともに、京都府事業を採択（平成31年度必要額約3億円）していただきたい。

<京都府事業のアピールポイント>

【水 稲】 水稻の画像による生育診断技術（府独自）で施肥等の作業適期を簡便に判断し、作業効率化や高品質化を図る

【京野菜】 京都府が有する栽培試験データの活用等を通じてピーマン等と比べ栽培が困難な万願寺とうがらしの曲がり果を減らし高単価品の収量を増加

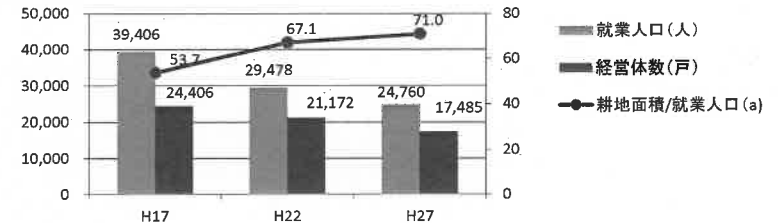
【宇治茶】 新芽の生育中に茶園を被覆する適期判断など「匠」の技術を「見える化」し、高品質な茶生産の裾野拡大や後継者確保につなげる

京都府の担当課	農林水産部 流通・ブランド戦略課 (075-414-4968)
---------	---------------------------------

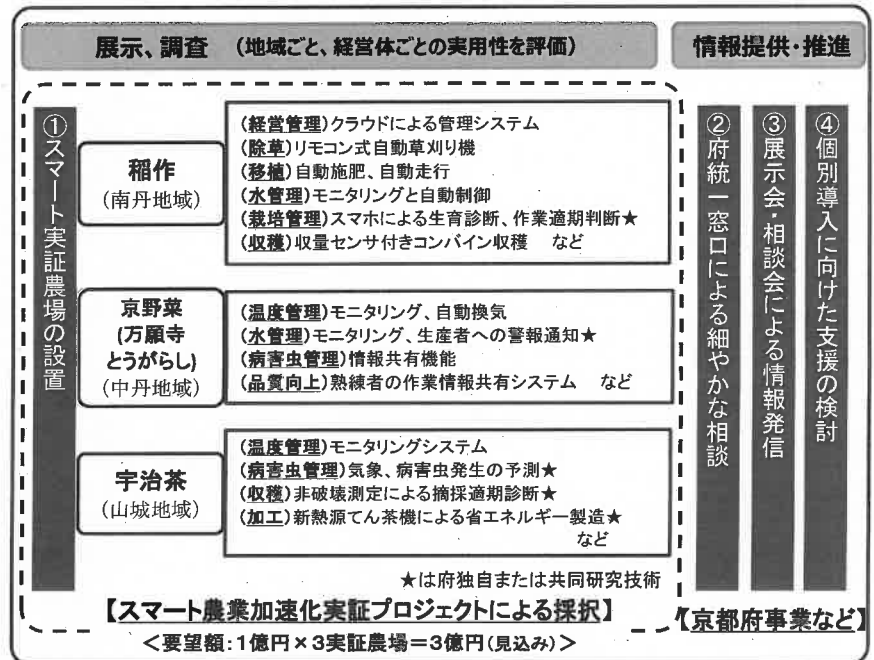
■概算要求 【農林水産省】

- ▶ スマート農業加速化実証プロジェクト 50億円（新規）
国、研究機関、民間企業、農業者の活力を最終し、ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用したスマート農業の全国展開を加速化するため、モデル農場における技術実証を支援

■京都府では、就業人口の減少に伴い、1農家あたりの耕地面積が増加しており、人材不足が深刻化



■京都府のプロジェクトイメージ



経営体ごとに
最適のスマート農業体系を導入開始



京都府全体での生産効率向上、
農村集落の維持、
担い手の経営発展へ